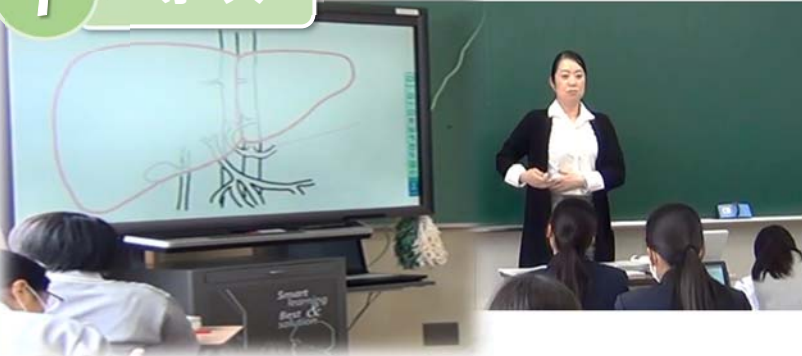


授業の様子

今回の授業のポイントは学習用パソコン上に書き込む、PowerPointを活用した「デジタルワークシート」を活用した点です。ワークシートがデジタルであることから、生徒は血液の流れをカラーで書いたり、消したりしながら試行を繰り返すことができます。

1 導入



まず「肝臓の位置はどこか」を生徒に考えさせながら授業を始めます。電子黒板に肝臓とその周りの血管の図を提示しながら、肝臓の役割と場所を確認します。

提示している図の肝臓の部分を白く半透明に塗りつぶしていることで、肝臓の後ろを通る血管を確認することができます。絵が立体的に見えるので、生徒には理解しやすいようです。

2 展開



先生の説明を思い出しながら、教科書の図や説明を確認して、血液の流れをデジタルワークシートに書き込んでいます。

次に、生徒の学習用パソコンに配布したデジタルワークシートに、生徒が考える血液の流れを書き込みます。

優れた図を描いた生徒の画面を電子黒板に投影して、クラス全体で共有しながら、考え方を確認します。



デジタルワークシートに書き込んだ血液の流れの図を共有しながら、理解を深めます。「肝臓に流れ込んだ血液はどうなるのか」をグループワークで協議します。



生徒が書き込んだ意見を電子黒板に投影して、それぞれの考え方の根拠を確認します。



少人数のグループワークなので色々な意見を出しやすいようです。話し合いの結果を受けて、生徒はそれぞれの意見を書き込みます。

3 まとめ



最後に、肝臓が栄養の吸収にどのように関わっているのかを説明します。生徒たちはこの活動の前に、血液の流れを書き込むために教科書を読んでいるので、飯田先生の説明を聞いて理解がすすむようです。

生徒は、デジタルと紙をうまく使い分けています。この日も、デジタルワークシートにポイントを書き込みながら、ノートに要点をまとめている生徒の姿が多くみられました。

一斉指導でポイントを確認

個別学習

班別学習

一斉指導で再確認

本時のまとめ